

令和2年度（2020年度）教育予算編成に向けての基本姿勢について（案）

教育予算の編成に当たっては、先に区長が定めた令和2年度中野区予算編成方針を踏まえ、教育委員会として自らの権限と責任において、主体的に行っていく必要がある。

令和2年度においては、平成30年度の決算の状況や教育に関する事務の点検評価、行政評価及び「令和2年度（2020年度）予算編成方針における改善の視点」を十分踏まえ、新たな教育課題に的確に対応し、教育内容の充実を図るとともに、事業の見直し・改善等により、財源を確保し、必要な施策に重点的に取り組んでいかなければならない。

よって、令和2年度教育予算の編成に当たっては、下記事項を重点として真に必要な施策を厳選して展開していくこととする。

記

【基本方針】

- 1 自身の可能性を伸ばし、自ら考え、学び、行動することのできる人材を育成するため、子どもたち一人ひとりの特性に応じたきめ細かな教育を推進するとともに、「確かな学力」、「豊かな人間性」、「健康・体力」のバランスのとれた教育を展開する。
- 2 人格形成の基礎となる幼児期における教育の充実を図るとともに、継続性を確保した教育により子どもたちが「生きる力」を確

実に身に付けていくための保・幼・小・中連携教育を推進する。

- 3 家庭、地域、学校の連携により、社会全体で子どもたちの成長を見守り、育成する取組を推進する。
- 4 学校現場における職場環境の整備に努め、教員が子どもたちの教育や自らの資質の向上に専念できるようにする。
- 5 子どもたちが安心・安全に学び、これからの新しい教育に対応できるように、中野区立小中学校再編計画（第2次）に基く、学校の統合・新校舎の改築・移転を進める。今後、変化する社会や地域状況に的確に対応し、学校環境のいっそうの改善を図るとともに、再編計画（第2次）の内容を検証する。

【予算編成において重点を置く項目】

- 1 新学習指導要領の目指す確かな学力の定着を図る。また、そのためのICTなどの教育環境の更なる充実を図るとともに特色ある学校づくりを推進する。
- 2 学校における教員の働き方改革を推進するための環境整備を進める。
- 3 子どもや子育て家庭の状況に応じた総合的な支援を進めるために、（仮称）総合子どもセンターの開設準備を進める。

あわせて、教員の研修・研究体制を構築し、いじめや不登校への予防や対応、障害や発達に課題のある児童・生徒も含めたすべての児童・生徒の育成に資する教師の対応力・指導力の強化を図る。

- 4 児童及び生徒の実情に応じた柔軟な教育相談を進めるため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなど専門職員の質を確保するとともに資質向上を図るための環境改善を進める。